

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 (H30.12.27) 開催概要

- 平成30年12月27日に**第2回富山県部会を開催し、各機関のH30年度取組状況の報告・次年度取組・連携協力体制について意見交換**を実施した。
- **建設系企業への就職のために、働き方改革の必要性や生徒の進路に影響を与える保護者への取組の充実等の課題**があがった。
- **担い手の県内定着に向け、県外からの学生へ富山の魅力を理解してもらうことも重要等の意見**が出された。
- **引き続き、産学官の関係機関の連携のもと平成31年度も取組を進めていくことで合意した。**

開催概要

日時 平成30年12月27日(木) 10:00~11:30

会場 富山河川国道事務所 3F大会議室

構成機関(順不同)

【行政】北陸地整建政部/富山河川国道事務所、富山労働局、富山県土木部/教育委員会

【教育】富山大学、富山県立大学、富山工業高校、桜井高校、高岡工芸高校、南砺福野高校

【業界】日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設ITカンパニー協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

【オブ】黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所、伏木富山港湾事務所

会員からの主な発言

- ・ 県内の求人に対し送り出す生徒の数が不足している。県外出身学生を県内に定着させる施策が必要。
- ・ 生徒への技能講習への参加希望者が多い。生徒が参加しやすい環境の整備が必要。
- ・ 担い手確保、育成のため、産官学共同した働き方改革への取組を実施する必要がある。
- ・ 女性技術者を増やすために、待遇や福利厚生が大事。
- ・ 建設フェアは初の富山開催となるので期待している。

開催状況

部会長挨拶



意見交換状況

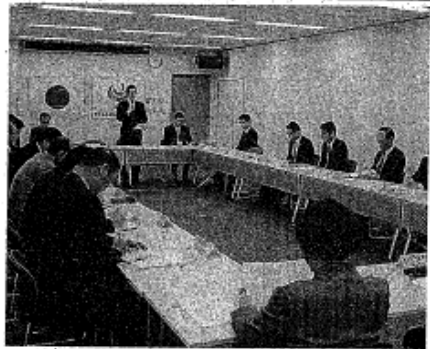


北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 (H30.12.27) 開催概要

建設工業新聞 (5面)
平成30年12月28日(金) 朝刊

『建設業界 担い手確保の取り組み』に関する報道
局名 KNB (日本テレビ系列)
日時 平成30年12月27日(木) 15:50 (約1分)

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会が、福井方面北陸地方整備局富山河川国道事務所長の初日、同事務所大会議室で開かれ、19年度の活動予定などで意見交換した。



建設界の担い手確保へ意見を交わした推進協議会

建設界の魅力発信を 担い手確保・育成推進協 県部会開く

福井方面北陸地方整備局富山河川国道事務所長の初日、同事務所大会議室で開かれ、19年度の活動予定などで意見交換した。

の魅力を理解してもらおうと、様々な取り組みを進めてきた。また、「産学官が連携のもと、建設界の持つ魅力を発信していくことで好印象を醸成し、担い手不足に対応していきたい」との考えを示した。議事では、各団体・機関から今年度の活動と19年度の活動予定が示された。

生や大学・専門学校生の学校関係者からは「専門インターンシップなどを継続して実施することを通じて、生徒が『世の中にこんな仕事があるんだ』と認識する機会になった」との感想があった。



(ナレーション)

人手不足に悩む建設業界の担い手を確保しようと、富山市で今日、関係機関による協議会が開かれ、企業と学生の意見交換などの取り組みが報告されました。



(ナレーション)

この「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」は、建設業界で、若者の就職の減少などにより人手不足が進む中、担い手確保に連携して取り組もうと、2014年に建設関係団体や教育機関、行政機関で設けられました。



(ナレーション)

今日は、各団体が学生などを対象に行った現場見学や出前講座など今年度の活動を報告しました。

なかでは、就職先に建設業を選ばない理由について企業側と学生が意見交換したことや、女子学生と女性技術者が交流した際、賃金格差や福利厚生を気にしていたことなどが報告されました。



(ナレーション)

協議会は、来年度も連携して取り組みを行うことを確認しました。